

# 平 川 市 立 金 田 小 学 校 旧 校 舎 解 体 工 事

## 設 計 図

令和 7 年 1 月

発注者：平 川 市

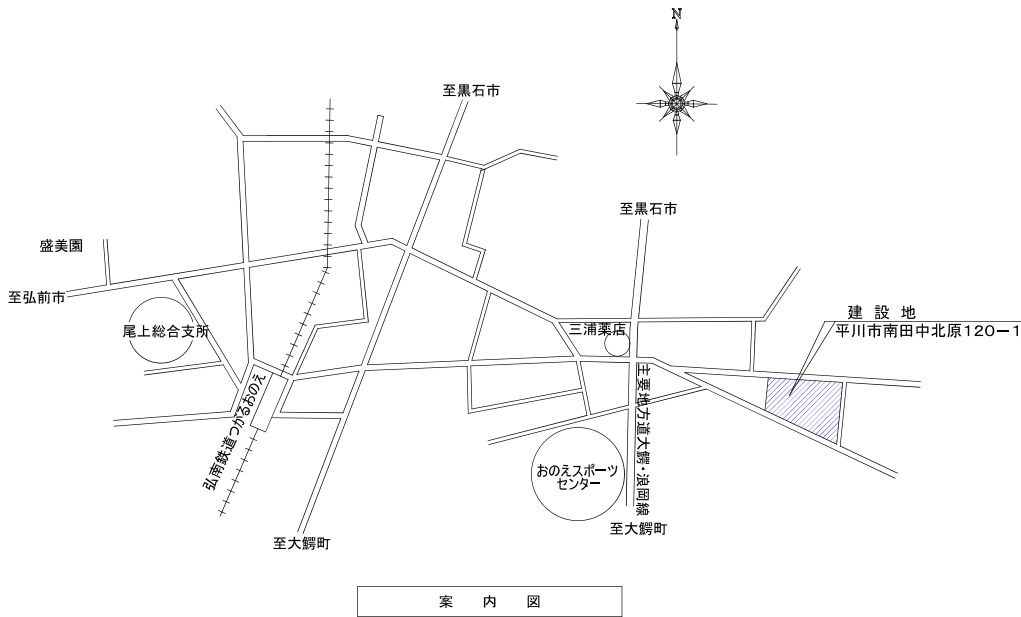
受注者：アール・エー・ビー開発株式会社

図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名
A ー 01	解体工事特記仕様書1	A ー 50	1階平面図 (昭和50年原設計図)	E ー 01	電気設備 取りこわし特記仕様書	M ー 01	機械設備 特記仕様書
A ー 02	解体工事特記仕様書2	A ー 51	2・3階平面図 (昭和50年原設計図)	E ー 02	配置図・構内配電線路図	M ー 02	案内図、配置図、工事概要
A ー 03	案内図、配置図、工事概要 (平成20年大規模改修)	A ー 52	立面図・断面図 (昭和50年原設計図)	E ー 03	既存照明器具 参考姿図	M ー 03	機械設備 配置図
A ー 04	外部仕上表・内部仕上表 (1) (平成20年大規模改修)	A ー 53	仕上表 (昭和50年原設計図)	E ー 04	電灯分岐設備 1階平面図	M ー 04	機械設備 冷房設備機器表
A ー 05	外部仕上表・内部仕上表 (2) (平成20年大規模改修)	A ー 54	屋根伏図・小屋伏図 (昭和50年原設計図)	E ー 05	電灯分岐設備 2階・3階平面図	M ー 05	機械設備 1階平面図 (1)
A ー 06	1階平面図 (平成20年大規模改修)	A ー 55	天井伏図1 (昭和50年原設計図)	E ー 06	コンセント設備 1階平面図	M ー 06	機械設備 1階平面図 (2)
A ー 07	2階平面図 (平成20年大規模改修)	A ー 56	天井伏図2 (昭和50年原設計図)	E ー 07	コンセント設備 2階・3階平面図	M ー 07	機械設備 機器表・1階平面図 (3)
A ー 08	3階平面図 (平成20年大規模改修)	A ー 57	矩計図 (昭和50年原設計図)	E ー 08	設備機器電源設備 1階平面図	M ー 08	機械設備 1階平面図 (4)
A ー 09	屋根伏図 (平成20年大規模改修)	A ー 58	階段詳細図 (昭和50年原設計図)	E ー 09	設備機器電源設備 2階・3階平面図	M ー 09	機械設備 1階平面図 (5)
A ー 10	立面図1 (平成20年大規模改修)	A ー 59	便所平面詳細図 (昭和50年原設計図)	E ー 10	幹線設備・テレビ共同受信設備・構内交換設備 1階平面図	M ー 10	機械設備 1階平面図 (6)
A ー 11	立面図2 (平成20年大規模改修)	A ー 60	EXP. J詳細図 (昭和50年原設計図)	E ー 11	幹線設備・テレビ共同受信設備 2階・3階平面図	M ー 11	機械設備 2階平面図 (1)
A ー 12	矩計図1 (平成20年大規模改修)	A ー 61	ボイラー室・用具室・宿直室詳細図 (昭和50年原設計図)	E ー 12	分電盤 参考単線結線図	M ー 12	機械設備 1階平面図 (7)・3階平面図 (1)
A ー 13	ボーチ部分断面詳細図 (平成20年大規模改修)	A ー 62	DW廻り詳細図、印刷室・給食室展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 13	動力設備 1階平面図 (1)	M ー 13	機械設備 2階平面図 (2)・3階平面図 (2)
A ー 14	屋根納め詳細図 (平成20年大規模改修)	A ー 63	ブレイルーム詳細図 (昭和50年原設計図)	E ー 14	動力設備 1階平面図 (2)	M ー 14	機械設備 2階平面図 (3)
A ー 15	多目的教室 (普通教室)：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 64	一般教室平面図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 15	動力設備 2階平面図	M ー 15	機械設備 2階平面図 (4)
A ー 16	普通教室 (特殊)：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 65	特殊教室・便所 平面図・断面図 (昭和50年原設計図)	E ー 16	動力設備 3階平面図	M ー 16	機械設備 2階平面図 (5)
A ー 17	昇降口：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 66	ボーチ・玄関 平面図・詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 17	電熱設備 1階平面図	M ー 17	機械設備 3階平面図 (3)
A ー 18	職員室：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 67	職員室・放送室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 18	電熱設備 2階・3階平面図	M ー 18	機械設備 3階平面図 (4)
A ー 19	放送室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 68	保健室・校長室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 19	受変電設備 1階平面図	M ー 19	機械設備 体育館1階平面図
A ー 20	校長室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 69	教具室・特別活動教室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 20	受変電設備 参考姿図・単線結線図	M ー 20	機械設備 系統図・詳細図 (1)
A ー 21	男女トイレ：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 70	音楽室 平面詳細図 (昭和50年原設計図)	E ー 21	拡声設備・情報表示設備 1階平面図	M ー 21	機械設備 詳細図 (2)
A ー 22	ボイラー室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 71	音楽室 展開図・詳細図 (昭和50年原設計図)	E ー 22	拡声設備・情報表示設備 2階・3階平面図	M ー 22	機械設備 詳細図 (3)
A ー 23	宿直室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 72	図工室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 23	拡声設備 参考姿図	M ー 23	機械設備 詳細図 (4)
A ー 24	多目的トイレ：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 73	図書室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 24	火災報知設備 1階平面図	M ー 24	機械設備 詳細図 (5)
A ー 25	給食室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 74	理科室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)	E ー 25	火災報知設備 2階・3階平面図	M ー 25	機械設備 詳細図 (6)
A ー 26	教具室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 75	家庭科教室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)			M ー 26	機械設備 詳細図 (7)
A ー 27	音楽室1廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 76	視聴覚室 平面詳細図・展開図 (昭和50年原設計図)			M ー 27	機械設備 詳細図 (8)
A ー 28	音楽室2廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 77	排水計画平面図 (昭和50年原設計図)			M ー 28	機械設備 浄化槽詳細図 (1)
A ー 29	図工室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 78	煙突・受水槽・国旗掲揚台詳細図 (昭和50年原設計図)			M ー 29	機械設備 浄化槽詳細図 (2)
A ー 30	図書室：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	A ー 79	校門・プロバン庫詳細図 (昭和50年原設計図)			M ー 30	機械設備 オイルタンク詳細図
A ー 31	共同学習室・研修室：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)					M ー 31	機械設備 床暖房詳細図
A ー 32	理科室1廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)					M ー 32	機械設備 床暖房ヘッダー詳細図
A ー 33	理科室2廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	S ー 01	土質柱状図 (昭和50年原設計図)			M ー 33	機械設備 冷房設備立面図・展開図 (1)
A ー 34	家庭科室：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	S ー 02	基礎伏図・杭伏図 (昭和50年原設計図)			M ー 34	機械設備 冷房設備立面図・展開図 (2)
A ー 35	コンピューター室廻り：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	S ー 03	基礎・地中梁リスト (昭和50年原設計図)			M ー 35	機械設備 機械室撤去図 (参考)
A ー 36	1階廊下：展開図 (平成20年大規模改修)	S ー 04	2・3階梁伏図 (昭和50年原設計図)				
A ー 37	2階廊下：展開図 (平成20年大規模改修)	S ー 05	R階梁伏図 (昭和50年原設計図)				
A ー 38	3階廊下：展開図 (平成20年大規模改修)	S ー 06	軸組図 (昭和50年原設計図)				
A ー 39	階段：平面詳細図・展開図 (平成20年大規模改修)	S ー 07	1階柱リスト1 (昭和50年原設計図)				
A ー 40	1階天井伏図 (平成20年大規模改修)	S ー 08	1階柱リスト2 (昭和50年原設計図)				
A ー 41	2・3階天井伏図 (平成20年大規模改修)	S ー 09	2階柱リスト1 (昭和50年原設計図)				
A ー 42	建具配置図 (平成20年大規模改修)	S ー 10	2階柱リスト2 (昭和50年原設計図)				
A ー 43	建具表1 (平成20年大規模改修)	S ー 11	3階柱リスト1 (昭和50年原設計図)				
A ー 44	建具表2 (平成20年大規模改修)	S ー 12	3階柱リスト2 (昭和50年原設計図)				
A ー 45	建具表3 (平成20年大規模改修)	S ー 13	大梁リスト (昭和50年原設計図)				
A ー 46	物置改修平面図・立面図 (平成20年大規模改修)	S ー 14	スラブ・壁・小梁リスト・煙突配筋図 (昭和50年原設計図)				
A ー 47	外構図 (平成20年大規模改修)	S ー 15	架構配筋図 (昭和50年原設計図)				
A ー 48	体育館 渡り廊下撤去平面詳細図 (平成20年大規模改修)	S ー 16	鉄骨詳細図 (昭和50年原設計図)				
A ー 49	体育館 渡り廊下矩計図・軸組図 (撤去部)、新設壁下地・断面詳細図	S ー 17	雑配筋図 (昭和50年原設計図)				

平川市立金田小学校旧校舎解体工事		工事特記仕様書																																																																								
I 工事概要																																																																										
1. 工事場所		青森県平川市南田中北原120ー1																																																																								
2. 敷地面積		27.625.91 m <sup>2</sup>																																																																								
3. 工事種目		1) 小学校 鉄筋コンクリート造一部SRC造 3階建て 取りこわし 1棟 延べ面積:4.966.45 m <sup>2</sup> 2) 体育館渡り廊下の一部 鉄骨造 平屋建て 取りこわし 1式 延べ面積: 18.32 m <sup>2</sup> 3) 物 置 補強コンクリートブロック造 平屋建て 取りこわし 1棟 延べ面積: 8.61 m <sup>2</sup> 4) 外 構 浄化槽(150人槽) 取りこわし 1式 地下オイルタンク 受水槽 煙突基礎 浄化槽(125人槽) 花壇 12ヶ所 アスファルト舗装 サワラの木 伐採・伐根 5) 電気・機械設備 取りこわし 1式 (一部、空調設備機器 取外し、学校側へ引渡す)																																																																								
4. 指定部分		・有 ・無 対象部分( ) 指定部分工期 年 月 日																																																																								
5. 工事範囲		躯体、捨てコンクリート、仕上材の全てを撤去する(基礎下碎石を除く) 杭は引抜きを行う (計407本 PC杭φ300 10m×177本、8m×230本) 井戸 GL-1.0mまで撤去し、埋戻し砂にて埋戻しを行う 埋戻しは埋戻し砂とする (一部、新校舎の発生土を利用) アスベスト含有建材 撤去処分 (アスベスト分析調査 調査報告書 参照)																																																																								
II 解体工事仕様																																																																										
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。 図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。																																																																										
(2) 本特記仕様書の表記		1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の《. . . 》内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。																																																																								
章	項 目	特 記 事 項																																																																								
1 章 各章共通事項	○適用基準	1) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準図(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課																																																																								
2 章 仮設工事	○騒音・粉じん等の対策	《2. 2. 1》 騒音・粉じん等の対策 ・防音パネル ・防音シート ○養生シート ・ 設置範囲及び高さ ○図示( / 図による) ○成形鋼板H=3m																																																																								
	○足場等	《2. 2. 4》 「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省 平成21年4月24日)の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。																																																																								
	○山留めの撤去	《2. 4. 3》 鋼矢板等の抜き後の処理 ・ ※直ちに砂等で充填する																																																																								
3 章 解体施工	○杭の解体	《3. 9. 2》 杭 ○行う ・行わない 杭の解体工法 ○引抜き工法 ・粉砕による解体																																																																								
	○樹木等	《3. 11. 1》 樹木の伐採抜根及び移植 ○行う( / 図による)																																																																								
	○地下埋設物・埋設配管	《3. 12. 1》 地下埋設物及び埋設配管の解体 ○行う( / 図による)																																																																								
	○解体後の整地	《3. 13. 1》 解体後の埋戻し及び盛土 ○行う 整地高さ ○現状GL ・図示( / 図による) 埋戻し及び盛土の材料 ○山砂の類 ○他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 解体後の地均し ○基礎部分等の撤去範囲の地均しを行う ・敷地全体の地均しを行う ・敷地の地均しを行わない ・行わない																																																																								
5 章 特別管理産業廃棄物の処理等	・施工計画調査	《5. 1. 2》 <table><tr><td>材料名</td><td>厚さ(mm)</td><td>調査を行う範囲</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※図示 ・工事対象範囲</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※図示 ・工事対象範囲</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※図示 ・工事対象範囲</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※図示 ・工事対象範囲</td></tr></table>		材料名	厚さ(mm)	調査を行う範囲			※図示 ・工事対象範囲			※図示 ・工事対象範囲			※図示 ・工事対象範囲			※図示 ・工事対象範囲																																																								
材料名	厚さ(mm)	調査を行う範囲																																																																								
		※図示 ・工事対象範囲																																																																								
		※図示 ・工事対象範囲																																																																								
		※図示 ・工事対象範囲																																																																								
		※図示 ・工事対象範囲																																																																								
6 章 アスベスト含有建材の除去及び処理		○石綿含有建材の除去工事 《6. 1. 3》 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲(※施工範囲全て ・図示 ) 貸与資料(○アスベスト関係材料調査票 ・既存図面) ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 <table><tr><td>材料名</td><td>定性分析方法</td><td>定量分析方法</td></tr><tr><td></td><td>JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></table> サンプル数 1 箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・		材料名	定性分析方法	定量分析方法		JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4		・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所																																																								
材料名	定性分析方法	定量分析方法																																																																								
	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4																																																																								
	・ 箇所	・ 箇所																																																																								
	・ 箇所	・ 箇所																																																																								
	・ 箇所	・ 箇所																																																																								
・石綿粉じん濃度測定		《6. 1. 4》 <table><tr><td>適用</td><td>測定名称</td><td>測定時期</td><td>測定場所</td><td>測定箇所数(各施工箇所ごと)</td></tr><tr><td>・</td><td>測定1</td><td rowspan="2">処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定2</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定3</td><td rowspan="3">処理作業中</td><td>処理作業室内</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定4</td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定5</td><td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td><td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定6</td><td></td><td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定7</td><td>処理作業後(シート養生中)</td><td>処理作業室内</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定8</td><td>処理作業後シート撤去後</td><td>処理作業室内</td><td>・計 点</td></tr><tr><td>・</td><td>測定9</td><td>1週間以降</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・計 点</td></tr></table> 測定方法 ・自動測定器による測定 <table><tr><td>測定名称</td><td>測定方法</td></tr><tr><td>・測定4 ・測定5</td><td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td></tr></table> ・JIS K 3850-1に基づいた測定 <table><tr><td>測定名称</td><td>メンブレンフィルター直径(mm)</td><td>試料の吸引流量(L/min)</td><td>試料の吸引時間(min)</td></tr><tr><td>・測定4 ・測定5</td><td>25</td><td>5</td><td>30</td></tr><tr><td>・測定 ・</td><td>25</td><td>10</td><td>120</td></tr><tr><td>・測定 ・</td><td>47</td><td>10</td><td>240</td></tr><tr><td>・測定 ・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点	・	測定2	調査対象室外部の付近	・計 点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計 点	・	測定4	セキュリティゾーン入口	・計 点	・	測定5	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 点	・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点	・	測定7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点	・	測定8	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・計 点	・	測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法	・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルター直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定4 ・測定5	25	5	30	・測定 ・	25	10	120	・測定 ・	47	10	240	・測定 ・			
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)																																																																						
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点																																																																						
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																						
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計 点																																																																						
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 点																																																																						
・	測定5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 点																																																																						
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点																																																																						
・	測定7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点																																																																						
・	測定8	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	・計 点																																																																						
・	測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点																																																																						
測定名称	測定方法																																																																									
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																									
測定名称	メンブレンフィルター直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																							
・測定4 ・測定5	25	5	30																																																																							
・測定 ・	25	10	120																																																																							
・測定 ・	47	10	240																																																																							
・測定 ・																																																																										
・石綿含有吹付け材の除去		《6. 3. 2、3》 除去対象範囲 ・図示 ・ 工法 ・ ※6. 3. 2(1) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																																								
○石綿含有保温材等の除去		《6. 4. 1》 除去対象範囲 ・図示 ○ボイラー室 ボイラー廻り配管 工法 ・破砕して除去 ○原型のまま手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固化 除去した石綿含有保温材等の処分 ○埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																																								
○石綿含有成形板の除去		《6. 5. 1》 除去対象範囲 ○図示 仕上表参照 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ○埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																																								
○石綿含有仕上塗材の除去		《6. 6. 1》 除去対象範囲 ○図示 仕上表参照 工法 ○集じん装置付き超高压水洗工法(100Mpa以上) ・湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法 ・乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法 ・剥離剤(薬品)工法 ・超音波ケレン工法 ・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ○埋立部分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)																																																																								
○石綿含有の設備資機材の除去		アスベスト含有の設備資機材の処理については、取りこわし特記仕様書(電気設備の部)及び(機械設備の部)による。																																																																								

章	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
---	-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--





面積表

構 造	校舎棟 鉄筋コンクリート造 3階建	体育館棟 鉄骨造平家建	物 置 補強CB造平家建
建築面積	1,923.31 m <sup>2</sup>	1,044.63 m <sup>2</sup>	8.61 m <sup>2</sup>
階			
3	1,483.87 m <sup>2</sup>		
2	1,690.07 m <sup>2</sup>		
1	1,792.51 m <sup>2</sup>	1,012.40 m <sup>2</sup>	8.61 m <sup>2</sup>
延床面積	4,966.45 m <sup>2</sup>	1,012.40 m <sup>2</sup>	8.61 m <sup>2</sup>

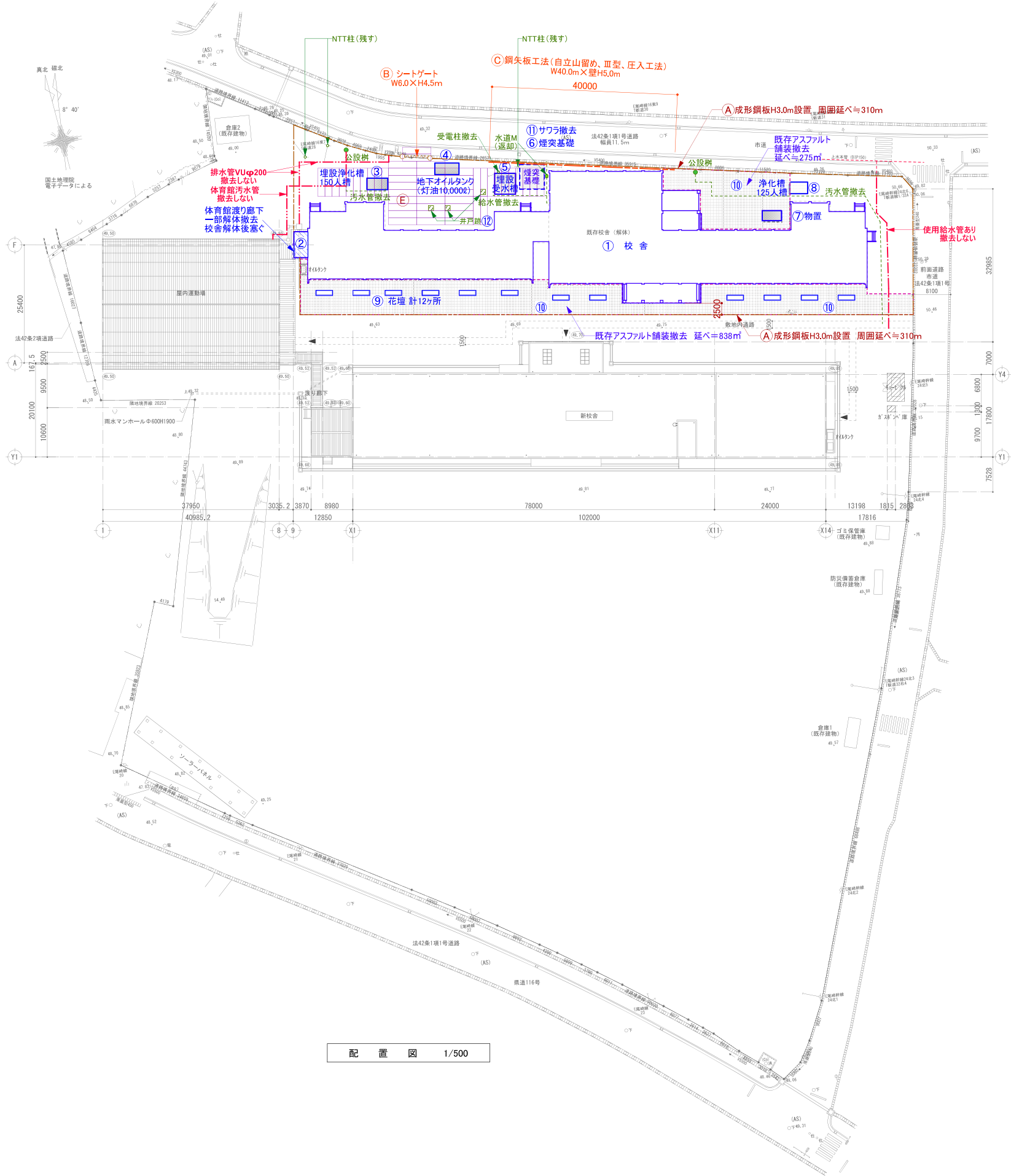
【工事概要】 解体撤去構造物リスト (参考数量)

名 称	構 造	延床面積・数量	備 考
① 校 舎	RC造 3F	4,966.45 m <sup>2</sup>	アスベスト調査結果に基づき適正に撤去・処分を行う、杭引抜きを行う
② 体育館渡り廊下の一部	S造 1F	18.32 m <sup>2</sup>	体育館渡り廊下の一部を解体撤去 撤去後の開口部、壁新設
③ 埋設浄化槽(150人槽)	上板・底板:RC造 本体:FRP製	躯体:4.49×2.50	鋼矢板工法(自立山留め、Ⅲ型、圧入工法) W6.5×L4.5×壁H6.0m(M-29参照)
④ 地下オイルタンク (灯油10,000L)	上板・底板:RC造 本体:FRP製	躯体:5.20×2.50	鋼矢板工法(自立山留め、Ⅲ型、圧入工法) W7.0×L4.5×壁H6.0m(M-30参照)
⑤ 埋設受水槽	上板・底板:RC造 本体:FRP製	躯体:4.15×4.15	(A-78参照)
⑥ 煙突基礎	RC造		(A-78参照、杭あり)
⑦ 物 置	補強CB造 1F	8.61 m <sup>2</sup>	(A-79、A-46 物置に改修)
⑧ 埋設浄化槽(125人槽)	RC造	躯体:3.81×2.50	鋼矢板工法(自立山留め、Ⅲ型、圧入工法) W6.0×L4.5×壁H6.0m(M-28参照)
⑨ 花 壇	RC造	3.60×1.10×12ヶ所	(A-15参照)
⑩ アスファルト舗装撤去	t=50	延べ=1,113 m <sup>2</sup>	(275m <sup>2</sup> +838m <sup>2</sup> ※撤去範囲、監督員と協議)
⑪ サワラ 樹木撤去	≒@4本/1m	延べ40 m	幹周り20cm、高さ1.2m (C)自立山留め 鋼矢板施工部分、樹木撤去)
⑫ 既設井戸跡	RC造 φ700	3ヶ所	GL=1.0mまで撤去、 埋戻し用砂にて埋戻しを行う(A-47図)

仮設計画

(参考数量)

名 称	数 量	備 考
Ⓐ 仮囲い 成形鋼板 H=3.0m	延べ≒310 m	
Ⓑ 仮囲い シートゲートW6m×H4.5m	1ヶ所	(W6.0m×H4.5m×1ヶ所)
Ⓒ 自立山留め 鋼矢板工法	≒200.0 壁m <sup>2</sup>	(W40.0m×壁H5.0m)
Ⓓ 鋼矢板工法 ③埋設浄化槽(150人槽)	≒132.0 壁m <sup>2</sup>	(自立山留め、Ⅲ型、圧入工法) W6.5×L4.5×壁H6.0m
鋼矢板工法 ④地下オイルタンク	≒138.0 壁m <sup>2</sup>	(自立山留め、Ⅲ型、圧入工法) W7.0×L4.5×壁H6.0m
鋼矢板工法 ⑤埋設浄化槽(125人槽)	≒126.0 壁m <sup>2</sup>	(自立山留め、Ⅲ型、圧入工法) W6.0×L4.5×壁H6.0m
Ⓔ 鉄板敷き t=22mm W1,524×L6,096	≒464.5 m <sup>2</sup>	(W1,524×L6,096×50枚)



外 部 仕 上 表 (校舎)				
工 事 項 目	改 修 前		H20 改 修 後	備 考
屋 根	A.長尺カラー鉄板t=0.4瓦棟葺(芯木ナシ)アスファルトルーフィング22kg B.長尺カラー鉄板t=0.4瓦棟葺(芯木ナシ)立平葺+横葺 アスファルトルーフィング22kg C.FRP防水 モルタル下地		①～A. 既存屋根 鉄板ケレンRC種 (4種ケレン) 高圧洗浄 ウレタン樹脂ルーフペイント塗 (2回塗) ①～B. 既存屋根 鉄板ケレンRB種 (3種ケレンB) 高圧洗浄 錆止塗装の上ウレタン樹脂ルーフペイント塗 (2回塗) ②. 既存カラー鉄板撤去後 新規ガルバリウム鋼板t=0.4横葺 アスファルトルーフィング940敷込 ③. 既存カラー鉄板撤去後 新規ガルバリウム鋼板t=0.4瓦棟葺一部横葺 アスファルトルーフィング940敷込 ④. 既存FRP防水部分 新規ガルバリウム鋼板t=0.4瓦棟葺一部横葺 アスファルトルーフィング940敷込 ⑤. 既存カラー鉄板撤去後 新規ガルバリウム鋼板t=0.4立平葺 アスファルトルーフィング940敷込	
笠 木	鋼板t=4.0塗装		既設笠木鋼板t=4.0撤去後アルミ製笠木W=250、300取付	
軒 天 井	コンクリート打放シ アクリルリシン吹付		高圧洗浄、下地調整後 弾性リシン吹付	クラック処理 (①による) 鉄筋露出部処理 (③による) 軒天井面の事前調査を行い結果を監督員に報告すること
外 壁	A.モルタル塗 アクリルリシン吹付 B.コンクリート打放シ アクリルリシン吹付 C.コンクリート打放シ(杉板) アクリル系防水剤吹付		A.高圧洗浄、下地調整後 防水形複層塗材E吹付 補修部分弾性リシン吹付 B.高圧洗浄、下地調整後 防水形複層塗材E吹付 補修部分弾性リシン吹付 C.高圧洗浄、樹脂モルタルt=5塗、防水形複層塗材E吹付	クラック処理 (①による)モルタル浮き部処理 (②による) 鉄筋露出部処理 (③による) 外壁面の事前調査を行い結果を監督員に報告すること 打継ぎ目地ウレタン系シーリング20×10
開 口 部	アルミ製サッシ スチールドア スチールシャッター		アルミ製サッシ:一部カバー工法による取替 スチールドア:既設スチールドア撤去後新規アルミ製ドア取付 (カバー工法) 機械室スチールドアは、SOP塗装替 スチールシャッター 既設スチールシャッター撤去後 新規スチールシャッター取付	
地 廻 リ	モルタル塗金ゴテ仕上		高圧洗浄後 樹脂モルタルt=5塗	
玄関ポーチ	床:磁器質100角タイル貼 段鼻L=50×50×4 柱型:杉板コンクリート打放シ透明防水剤吹付 腰壁:モルタル下地磁器質四丁掛タイル貼 天井:アルミサドルレールt=0.8 パラベット:モルタル塗 アクリルリシン吹付		床:既存磁器質100角タイル貼 段鼻L=50×50×4撤去後 新規磁器質150角タイル貼 (モルタル下地) 柱型:新規磁器質二丁掛タイル貼 (モルタル下地)一部アクリル樹脂エマルジョン系自然石調裝飾材吹付 (単色仕上、一段目地) 天井:既設アルミサドル撤去後新規アルミサドルレールt=1.0張	パラベット:既存モルタル撤去後 モルタル薄塗後 自然石調裝飾材吹付 (単色仕上、一段目地) 腰壁:既設腰壁撤去後 新規コンクリート腰壁 磁器質二丁掛タイル貼 (モルタル下地) 新規ステンレス製郵便受 390×390×260 既存スチール製グレーチング撤去後新規スチール製グレーチング
玄関ポーチ屋根	シート防水t=1.2 モルタル下地		既存モルタル、シート防水t=1.2撤去後 新規モルタル塗 シート防水t=1.2貼	ステンレス脱気金物 2ヶ所 ステンレスRD100巾 縦型2ヶ所
花 壇 犬走り階段	モルタル下地磁器質四丁掛タイル貼 コンクリート製階段		既存花壇、コンクリート階段、犬走り解体撤去後 新規花壇、コンクリート階段、アスファルト舗装	

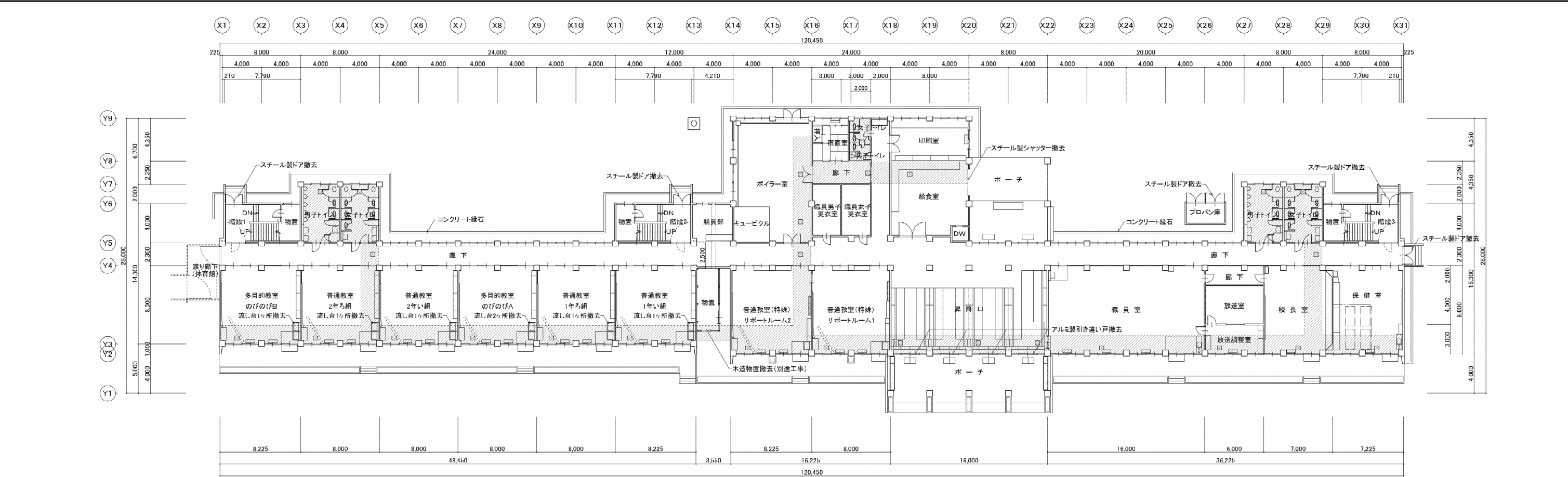
①外壁クラック処理		②モルタル浮処理		③鉄筋露出部処理		④コンクリート欠損部処理		
クラック巾	0.2mm以上1.0mm未満（参考数量 84、7m）	1.0mm以上（参考数量 0 m）	工 法	モルタル塗替え工法(参考数量 12、8㎡)	工 法	鉄筋錆止工法	工 法	充填工法
工 法	Uカットシーリング材充填工法	Uカットシーリング材充填工法	工 程	1. 補修範囲の確認	工 程	1. 補修範囲の確認	工 程	1. 補修範囲の確認
工 程	1. 補修範囲の確認	1. 補修範囲の確認		2. 浮き部の撤去		2. ハツリ、ケレン		2. ハツリ
	2. 表面処理	2. 表面処理		3. 高圧水洗浄		3. 高圧水洗浄		3. 高圧水洗浄
	3. Uカット	3. Uカット		4. プライマー塗布		4. 防錆処理		4. プライマー塗布
	4. 高圧水洗浄	4. 高圧水洗浄		5. ポリマーセメントモルタル塗		5. エポキシ樹脂モルタル塗		5. エポキシ樹脂モルタル塗
	5. プライマー塗布	5. プライマー塗布		6. モルタル塗				
	6. 可とう性エポキシ樹脂充填	6. シーリング用材料充填						
		7. ポリマーセメントモルタル塗込						

内 部 仕 上 表 (校舎)												
階	部 位 室 名	床 仕 上		巾 木 仕 上		壁 仕 上		天 井 仕 上		天 井 高	備 考 (備考 H20済工事)	室 名
		床 改 修 前	H20 床 改 修 後	巾 木 改 修 前	H20 巾 木 改 修 後	壁 改 修 前	H20 壁 改 修 後	天 井 改 修 前	H20 天 井 改 修 後			
1 階	昇 降 口	A.モルタル下地 磁器質100角タイル貼 B.モルタル下地 カーベツト貼	A.既存磁器質100角タイル貼撤去後 新規磁器質150角タイル貼(モルタル下地) B.既存カーベツト撤去後下地調整新規ビニル床シートt=2.8貼	タイル・人造石	既存タイル、人造石撤去後 新規上種ステンレス製t=2.0	壁 モルタル下地磁器質四丁掛タイル貼 柱型 モルタル塗多輪模様吹付	壁 改修なし 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替 柱型 アクリル樹脂エマルジョン系自然石調裝飾材吹付	石膏ボードt=9.0下地岩綿吸音板t=15貼	下地調整後EP塗装	2,900 ～3,050	既存スチール製グレーチング撤去【H20済】	昇 降 口
	職 員 室	A.モルタル下地 パーケツトフロア貼 B.モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	改修なし	木製巾木H=100 OP 柱型ソフト巾木H=100	改修なし	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	改修なし	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	改修なし	3,000	ガス配管改修【H20済】	職 員 室
	放送調整室	モルタル下地 カーベツトタイル敷	既存カーベツトタイル撤去後下地調整 新規カーベツトt=6.0貼(97フィカーベツトルーフタイプ)L=4.0 ホリエステル・アクリル製 防タニ、防炎加工品)	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地有孔シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000		放送準備室
	放 送 室	モルタル下地 カーベツトタイル敷	既存カーベツトタイル撤去後下地調整 新規カーベツトt=6.0貼(97フィカーベツトルーフタイプ)L=4.0 ホリエステル・アクリル製 防タニ、防炎加工品)	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	石膏ボードt=9.0下地ビニルクロス貼	改修なし	石膏ボードt=9.0下地ビニルクロス貼	改修なし	2,600		放 送 室
	職員室や校長室廊下	モルタル下地 パーケツトフロア貼	改修なし	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	2,600		職員室や校長室廊下
	校 長 室	モルタル下地 ビニル床シートt=2.0貼	改修なし	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	A.石膏ボードt=9.0下地縁甲板張 B.石膏ボードt=9.0下地ビニルクロス貼 C.柱型 モルタル下地ビニルクロス貼	A.改修なし B.既存ビニル撤去後新規ビニルクロス貼 C.柱型 既存ビニル撤去後新規ビニルクロス貼	石膏ボードt=9.0下地岩綿吸音板t=15貼	下地調整後EP塗替	3,000		校 長 室
	保 健 室	モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	既存の上新規ビニル床シートt=2.0貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替 撤去後新規ソフト巾木H=100	A.石膏ボードt=9.0下地石綿スレートt=4.0目透張 VP B.改修なし C.柱型 モルタル塗 VP	A.既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替 B.改修なし C.柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000	ガス配管改修【H20済】	保 健 室
	普通教室(特殊)	A.モルタル下地 パーケツトフロア貼 B.モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	A.不陸調整ビス打後新規ビニル床シートt=2.8貼 B.下地調整後新規ビニル床シートt=2.8貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地有孔シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000		普通教室(特殊)
	ボイラー室	モルタル金ゴテ仕上	既存コンクリート架台撤去後モルタル金ゴテ仕上	モルタル金ゴテ仕上	改修なし	モルタル刷毛引アクリル系防水リシン吹付	改修なし	木毛マグネシウム板t=20	改修なし		配管エルボ保温材20ヶ所(参考数量) フランジパッキン200ヶ所程度(参考数量)	ボイラー室
	宿直室	免泡スチロール板t=30下地 タタミ敷t=50	既存タタミ撤去後新規タタミ敷t=50(建材量 2等)	タタミ寄	改修なし	ラスボードt=7.0下地プラスター和壁塗	京壁吹付	プリント石膏ボードt=9.0目透張	改修なし	2,400		宿直室
	宿直室前廊下	モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	新規ビニル床シートt=2.8貼	ソフト巾木H=100	撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地有孔シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	2,600		宿直室前廊下
	職員男子更衣室	モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	改修なし	木製巾木H=100 OP	改修なし	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	改修なし	石膏ボードt=9.0目透張 EP	改修なし	2,600		職員男子更衣室
	職員女子更衣室	モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	改修なし	木製巾木H=100 OP	改修なし	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP	改修なし	石膏ボードt=9.0目透張 EP	改修なし	2,600		職員女子更衣室
	給 食 室	モルタル下地 磁器質100角タイル貼	改修なし	同左	改修なし	腰壁 モルタル下地半磁器100角タイル貼H=2,000 壁 モルタル下地 VP	タイル一部撤去後陶器質100角タイル貼復旧 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石綿スレートt=4.0目透張 VP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	2,600	スチールシャッター取替【H20済】	給 食 室
	印 刷 室	モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	新規ビニル床シートt=2.0貼	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	2,600		印 刷 室
	購 買 部	モルタル下地 ビニル床タイルt=2.0貼	新規ビニル床シートt=2.8貼	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル塗 VP	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	2,600		購 買 部
	職員男子トイレ (多目的トイレに改修)	モルタル下地 無釉モザイクタイル貼	既存タイル貼ノ上セメント系 カチオン性樹脂モルタル下地調整後 下地モルタル塗 新規ビニル床シートt=2.0貼	タイル貼	同左	腰壁 モルタル下地半磁器100角タイル貼H=1,800 壁 モルタル下地 VP	既存タイル撤去(モルタル共後) 新規耐浸害性陶器質100角タイル貼	石綿スレートt=4.0目透張 VP	既存の上新規ケイ酸カルシウム板t=5.0目透張 EP	2,650→2,600	既存木製ドア、トイレブース、便器等撤去 新規スチール製型引戸【H20済】	職員男子トイレ (多目的トイレに改修)
		職員女子トイレ (多目的トイレに改修)	モルタル下地 無釉モザイクタイル貼	既存タイル貼ノ上セメント系 カチオン性樹脂モルタル下地調整後 下地モルタル塗 新規ビニル床シートt=2.0貼	タイル貼	同左	腰壁 モルタル下地半磁器100角タイル貼H=1,800 壁 モルタル下地 VP	既存タイル撤去(モルタル共後) 新規耐浸害性陶器質100角タイル貼	石綿スレートt=4.0目透張 VP	既存の上新規ケイ酸カルシウム板t=5.0目透張 EP	2,650→2,600	既存木製ドア、トイレブース、便器等撤去 【H20済】

ソフト巾木H=100 ※四角内表示はアスベスト含有建材を示す

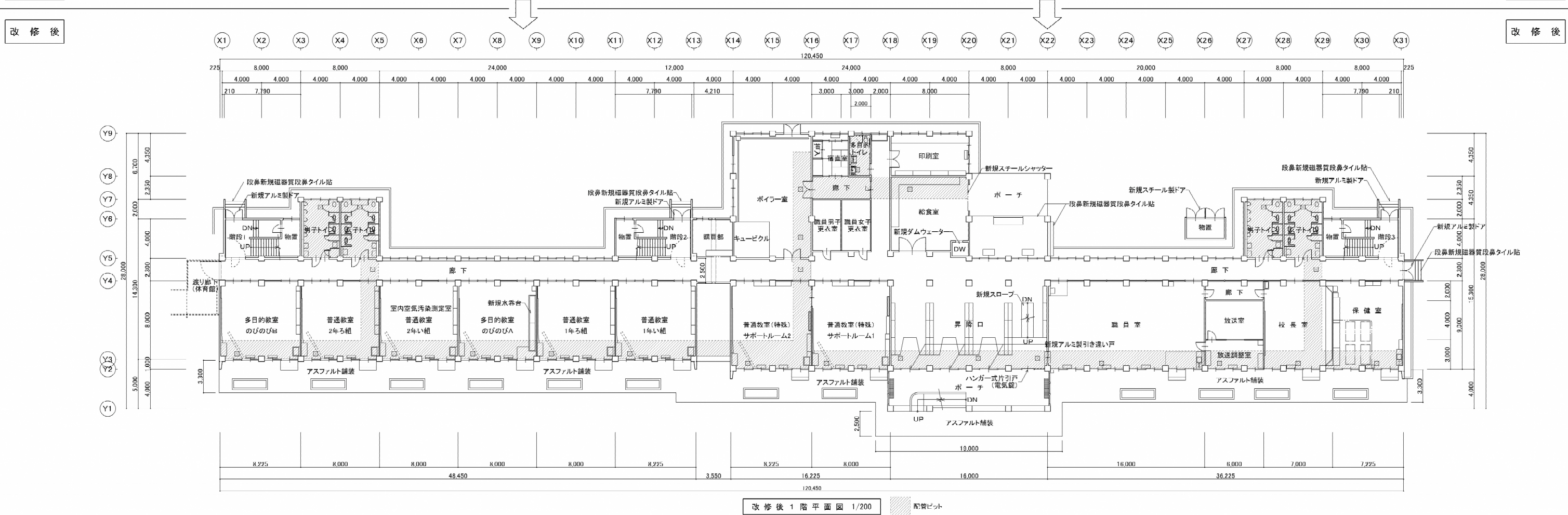
内 部 仕 上 表（校舎）												
階	部 位 室 名	床 仕 上		巾 木 仕 上		壁 仕 上		天 井 仕 上		天 井 高	備 考 （備考 H20済工事）	室 名
		床 改 修 前	H20 床 改 修 後	巾 木 改 修 前	H20 巾 木 改 修 後	壁 改 修 前	H20 壁 改 修 後	天 井 改 修 前	H20 天 井 改 修 後			
2	教 具 室	モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	改修なし	木製巾木H=100 OP <b>ソフト巾木H=100</b>	改修なし	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	改修なし	3,000		教 具 室
	音 楽 室①	モルタル下地 <b>ビニル床シートt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.0貼	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル下地 ビニールクロス貼	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存ビニールクロス撤去後新規ビニールクロス貼	石膏ボードt=9.0下地 <b>岩綿吸音板t=15貼</b> EP	下地調整後EP塗装	3,000	既存木製ドア撤去後アルミ製防音ドア取付【H20済】	音 楽 室①
	音楽準備室	モルタル下地 <b>ビニル床シートt=2.0貼</b>	改修なし	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	改修なし	3,000		音楽準備室
	音 楽 室②	A.モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b> B.木床組 カーベツト敷	A.既存の上新規ビニル床シート=2.0貼 B.既存撤去後新規カーベツトt=6.0貼(タフテツカーベツト ループタイプL=4.0ホリエステル・アクリル製 防タニ、防炎加工品)	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 モルタル下地 ビニールクロス貼	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存ビニールクロス撤去後 新規ビニールクロス貼	石膏ボードt=9.0+合板t=5.5下地 ビニールクロス貼 梁型 合板t=5.5下地 ビニールクロス貼	改修なし	2,900 ～3,450	既存木製ドア撤去後アルミ製防音ドア取付 木製オルガン43台撤去 階段部分アルミ製ノンスリップ 【H20済】	音 楽 室②
	図工準備室	モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.0貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000		図工準備室
	図 工 室	モルタル下地 <b>ビニル床シートt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.0貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000		図 工 室
	図 書 室	A.モルタル下地 パーケットフロア貼 B.モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	A.不陸調整ビス打後新規ビニル床シート=2.8貼 B.下地調整後新規ビニル床シート=2.8貼	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	石膏ボードt=9.0下地ビニールクロス貼 柱型 モルタル下地 ビニールクロス貼	既存ビニールクロス撤去後 新規ビニールクロス貼	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,200		図 書 室
	共同学習室 研 修 室	モルタル下地 塗床仕上	既存の上 新規複層フローリングボードt=15張(ナラ材クッション材t=2含む)塗装品 エキスパンションゴムW=15 一部既存の上新規ビニル床シートt=2.0貼	木製巾木H=100 OSCL	OSCL塗替	フローリング張ボリウレタン塗装 合板t=5.5下地 ビニールクロス貼	改修なし	木毛マグネシウム板t=20 砂粒状陶磁器吹付 梁型 コンクリート打放シ砂粒状陶磁器吹付	改修なし	4,330→4,315		共同学習室 研 修 室
	用 具 庫	モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	既存の上 新規複層フローリングボードt=15張(ナラ材クッション材t=2含む)塗装品 エキスパンションゴムW=15	木製巾木H=100 OP	SOP塗替	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	木毛マグネシウム板t=20 砂粒状陶磁器吹付 梁型 コンクリート打放シ砂粒状陶磁器吹付	既存塗装清掃EP吹付	2,900～3,450 →2,855～3,435		用 具 庫
3	理 科 室①	モルタル下地 <b>ビニル床シートt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.0貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地 <b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b> 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	<b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,500	ガス配管改修【H20済】 <b>実験台天板:スレート板t=4.0</b>	理 科 室①
	理科準備室	モルタル下地 <b>ビニル床シートt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.0貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地 <b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b> 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	<b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000	<b>実験台天板:スレート板t=4.0</b>	理科準備室
	理 科 室②	モルタル下地 <b>ビニル床シートt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.0貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地 <b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b> 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	<b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000	ガス配管改修【H20済】 <b>実験台天板:スレート板t=4.0</b>	理 科 室②
	相 談 室	A.モルタル下地 パーケットフロア貼 B.モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	A.不陸調整ビス打後新規ビニル床シート=2.8貼 B.下地調整後新規ビニル床シート=2.8貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地有孔シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000		相 談 室
	家庭科室	モルタル下地 <b>ビニル床シートt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.0貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	合板t=5.5下地 <b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000	ガス配管改修、作業台カバー改修【H20済】	家庭科室
	コンピュータ準備室	鋼製床下地 タイルカーベツト敷	改修なし	<b>ソフト巾木H=100</b>	改修なし	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP	改修なし	石膏ボードt=9.0下地岩綿吸音板t=15貼 EP	改修なし	2,900		コンピュータ準備室
	コンピュータ室	鋼製床下地 タイルカーベツト敷	改修なし	<b>ソフト巾木H=100</b>	改修なし	石膏ボードt=9.0下地シナ合板t=5.5目透張 OP	改修なし	石膏ボードt=9.0下地岩綿吸音板t=15貼 EP	改修なし	2,800 ～3,000	既存木製ドア撤去後アルミ製防音ドア取付【H20済】	コンピュータ室
	調 整 室	鋼製床下地 タイルカーベツト敷	改修なし	<b>ソフト巾木H=100</b>	改修なし	ビニールクロス貼	既存クロス一部撤去後新規ビニールクロス貼	石膏ボードt=9.0目透張 EP	改修なし	2,900		調 整 室
共 通	普通教室	A.モルタル下地 パーケットフロア貼 B.モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	A.不陸調整ビス打後新規ビニル床シート=2.8貼 B.下地調整後新規ビニル床シート=2.8貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地有孔シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000	水呑台一部撤去【H20済】	普通教室
	廊 下	モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.8貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地有孔シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存仕上材の上 新規天井用化粧石膏ボードt=9.5張	2,600→2,590		廊 下
	多目的教室	A.モルタル下地 パーケットフロア貼 B.モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	A.不陸調整ビス打後新規ビニル床シート=2.8貼 B.下地調整後新規ビニル床シート=2.8貼	木製巾木H=100 OP ソフト巾木H=100	SOP塗替・既存ソフト巾木 撤去後新規ソフト巾木H=100	石膏ボードt=9.0下地有孔シナ合板t=5.5目透張 OP 柱型 <b>モルタル塗 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替 柱型 既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	3,000	水呑台一部撤去、新規水呑台【H20済】	多目的教室
	男子トイレ	モルタル下地 無釉モザイクタイル貼	改修なし	同左	改修なし	腰壁 モルタル下地半磁器100角タイル貼H=1,800 壁 <b>モルタル下地 VP</b>	改修なし	<b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b>	改修なし	2,650		男子トイレ
	女子トイレ	モルタル下地 無釉モザイクタイル貼	改修なし	同左	改修なし	腰壁 モルタル下地半磁器100角タイル貼H=1,800 壁 <b>モルタル下地 VP</b>	改修なし	<b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b>	改修なし	2,650		女子トイレ
	階 段 室	モルタル下地 <b>ビニル床タイルt=2.0貼</b>	既存の上新規ビニル床シート=2.8貼	木製巾木H=100 OP	SOP塗替・既存ソフト巾木	合板t=5.5下地 <b>石綿スレートt=4.0目透張 VP</b>	既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替	A.有孔石膏ボードt=9.0目透張 EP B.モルタル金ゴテ 立体模様吹付	A.既存塗装下地調整(RB種)後EP塗替 B.既存塗装清掃後EP吹付		新規改修用ステンレス製 ゴムタイヤノンスリップW=75【H20済】	階 段 室
	階段下物置	モルタル金ゴテ仕上	改修なし			<b>モルタル金ゴテ VP</b>	改修なし	モルタル金ゴテ仕上	改修なし	2,170		階段下物置
	ダムウェーター シャフト	コンクリート金ゴテ仕上	改修なし			コンクリート打放し	改修なし	コンクリート打放し	改修なし	10,280	既存ダムウェーター撤去(カゴ、扉、 ワイヤー、モーター、操作スイッチ共) 新規ダムウェーター設置(三方枠は 既存SOP塗替)【H20済】	ダムウェーター シャフト
	木製顔縁 木製カーテンボックス 木製スクリーンボックス	既存塗装下地調整(RB種)後SOP塗替										
	既存ビニル床タイル 石綿スレート	アスベスト含有	※H20年の大規模改修工事において、 アスベスト含建材の撤去は行っていない									
SOP 合成樹脂調合ペイント塗 PBt=9.5 QM-9828 無石綿珪酸カルシウム板 NM-8578 〰 アルミサッシ廻りシーリング打ち替え15×10(変成シリコン系)（既存アルミサッシ水切部分） OS オイルステン塗 天井用化粧PBt=9.5 QM-9824 ロックウール吸音板 NM-8599 〰 アルミサッシ廻りシーリング新設15×10(変成シリコン系) OSC オイルステンワニス塗 防水PBt=9.5 QM-9826 グラスウールボード NM-8605 OSCL オイルステングリアラッカー塗 防水PBt=12.5 QM-9826 ビニールクロス 準不燃材料 WP 無公害型木材保護塗装 不燃PBt=12.5 NM-8619 無機質クロス 不燃材料 UC ポリウレタンワニス塗 防水不燃PBt=12.5 NM-9639 キッチンパネル NM-0370 EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗 天井用不燃化粧PBt=9.5 NM-8613 乾式浴室天井材 QM-9050 EP-G 合成樹脂エマルジョンペイント塗（環境対応型） 天井用不燃化粧PBt=12.5(木目) NM-0127 高耐摩耗不燃化粧板 NM-9411												





改 修 前

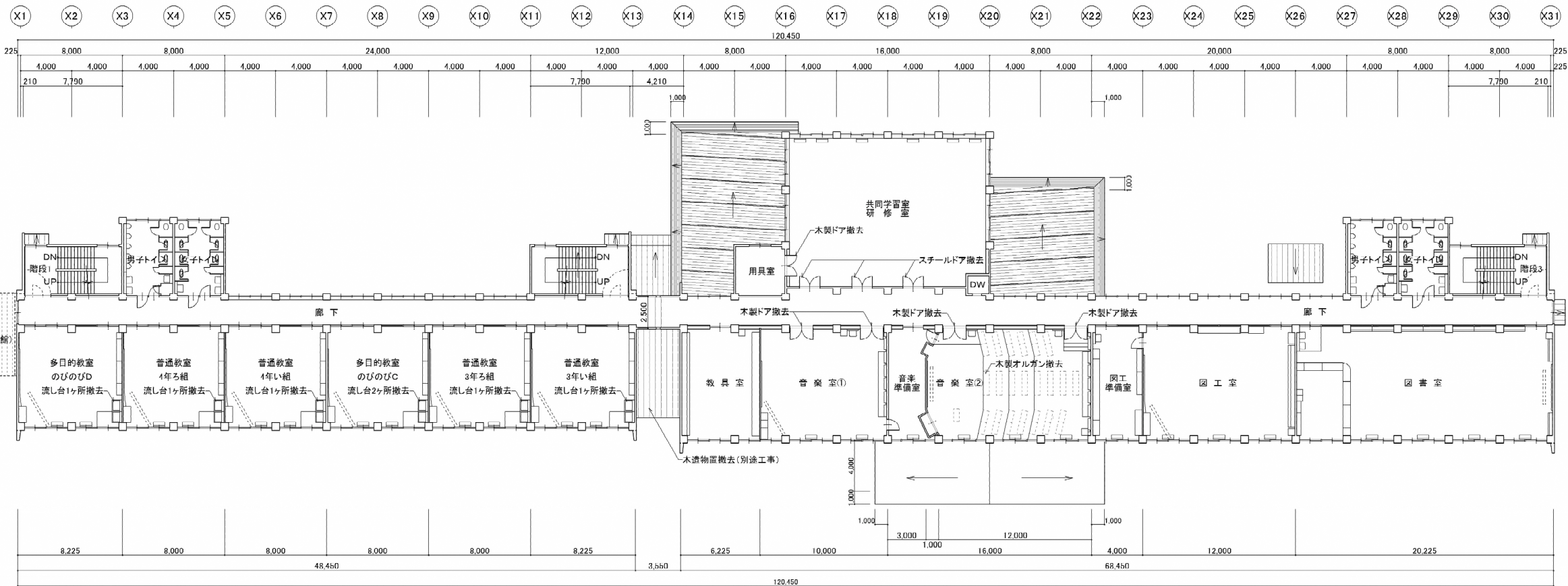
改 修 前 1 階 平 面 図 1/200



改 修 後

改 修 後 1 階 平 面 図 1/200

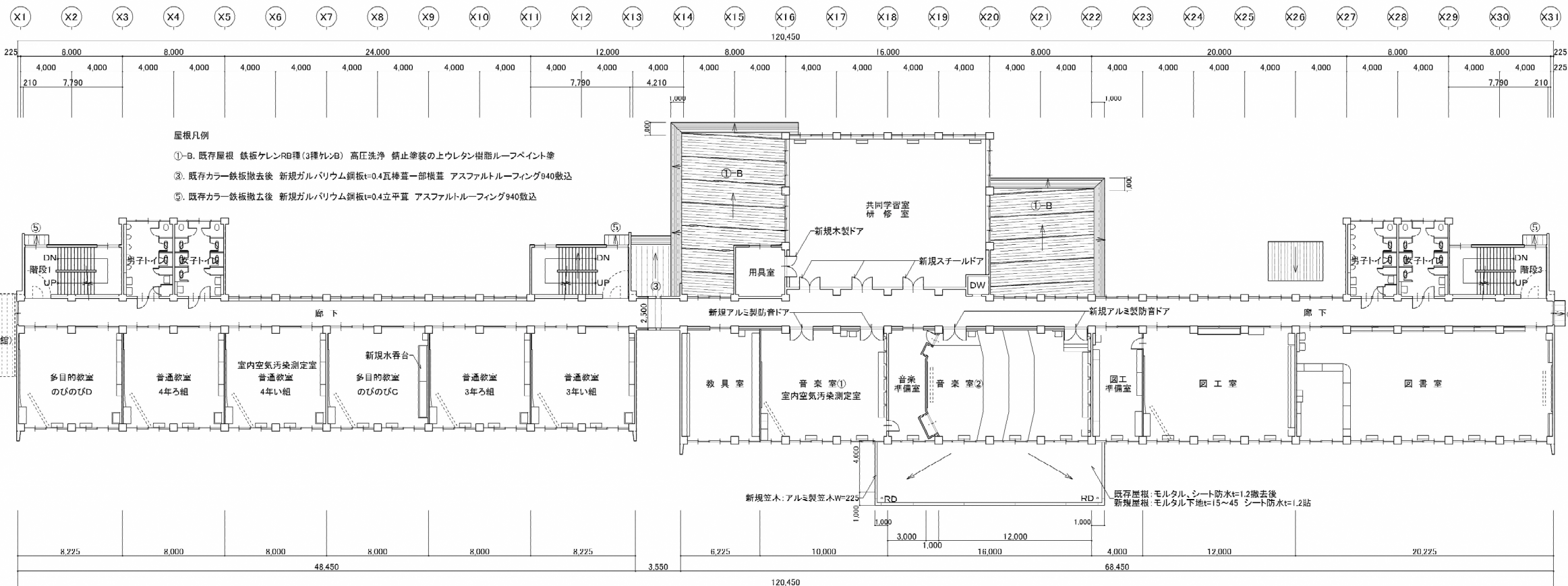




改修前 2階平面図 1/200

改修前

改修前

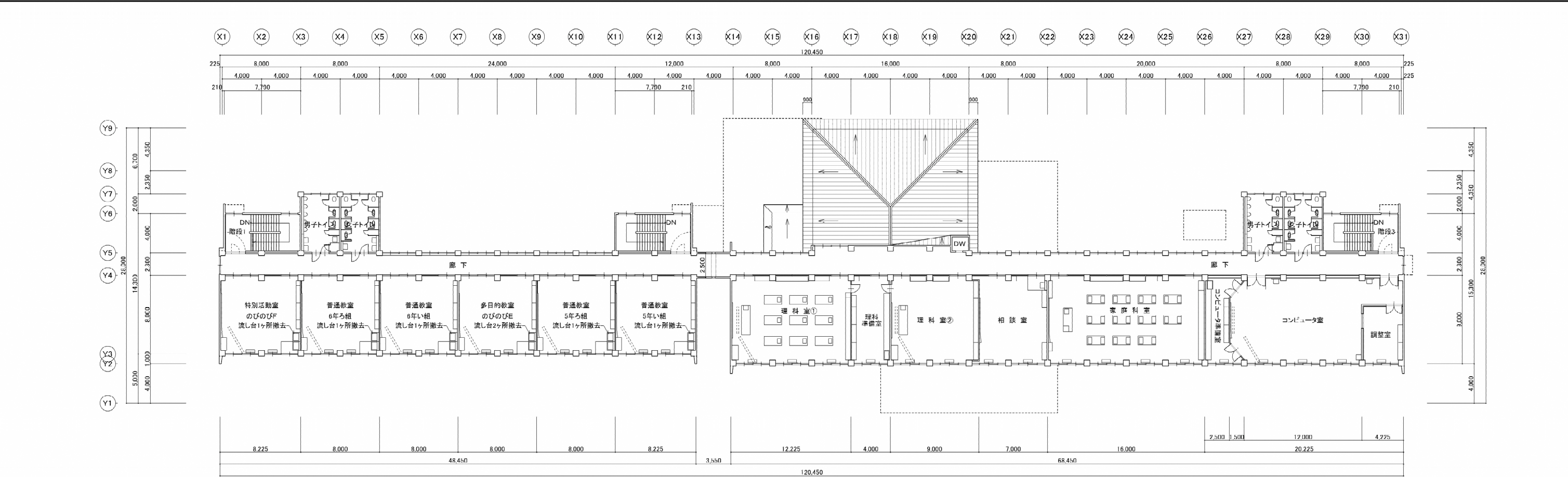


改修後 2階平面図 1/200

改修後

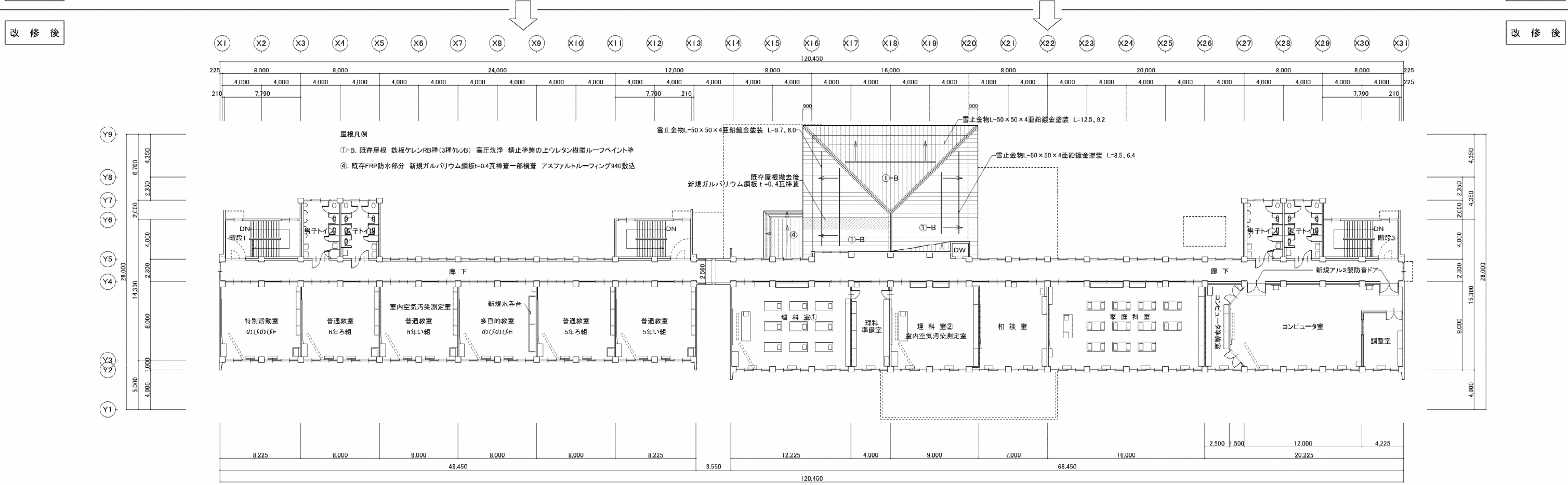
改修後





改修前

改修前



改修後

改修後